

ウォール・タラッシュのさなかに

金融危機とアメリカ
世界はどこへ行くのか

金子勝氏を迎えて

2009.02.14 (Sat.)
15:00 - 18:00

東京外国語大学 (多磨キャンパス)
研究講義棟 2階 226 教室

講師：金子勝 (慶應義塾大学)

討論：西谷修
土佐弘之
真島一郎
米谷匡史
中山智香子

一九八九年末にベルリンで「壁」が崩れた後、自由な市場の原理が勝利したとされ、世界はグローバルな市場経済に呑み込まれた。ところがほぼ二十年後の二〇〇八年秋、今度はグローバル市場の中軸を支えていたはずのもうひとつの「壁」が踏み抜かれた。ウォール街の崩壊だ。この「もうひとつの壁」の崩壊とはいったいどういう事態なのか、それは世界や日本に何をもたらすのか、そしてその粉塵に煙る世界の将来はどうなるのか。この間、日本にも浸透した新自由主義的政策を精力的に批判し、社会解体のブルドーザーの前に立ちはだかつてきた経済論壇の雄、金子勝氏を迎えて、世界史的観点からアメリカの制度批判を展開する西谷修が、関連する焦眉の問題を熱く論じる。

西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分
京王線「飛田給」駅よりバス「東京外国語大学前」下車徒歩1分